

令和7年度第2回高松市総合教育会議
(令和7年11月19日)

部活動の地域展開に向けた体制づくり

～子どもたちの成長を地域全体で支えるために～

創造都市推進局 スポーツ振興課・文化芸術振興課 政策局 政策課
教育委員会 教育局 保健体育課・学校教育課・生涯学習課

1 部活動の地域展開における国の動向

令和7年5月16日 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」
最終とりまとめ

改革の理念・基本的な考え方

改革の目的

急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実すること。



そのためには…

●地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障していくことが必要。

●地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、「新たな価値」を創出することが重要

1 部活動の地域展開における国の動向

「地域展開」への名称変更

学校部活動から地域クラブ活動への転換を表す名称

現行

地域移行

見直し

地域展開

変更の趣旨

- ①従来、学校内の人的・物的資源（学校の施設を含む）によって運営されてきた活動を広く

地域に開き、地域全体で支えていく

- ②地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で支えることで可能となる**新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動**を目指していく

2 本市の現状

◆生徒数	中学校24校（分校2校含む）		（見込み）
平成27年	11,543人	1,099人減少	令和7年 10,444人
			令和13年 9,861人

◆部活動の入部率	
令和5年	88.4%
3.3%減少	→
令和7年	85.1%

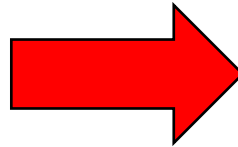
部員数の減少により、学校単位でのチームが組めない学校や、廃部を検討する部活動が出てきている。

また、生徒の減少により、教員の数も減少しており、担当できる部活動数も減少せざるを得ない状況。

これまでと同様の形態で、部活動を継続していくことは困難。

子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の場を維持するために、新たな手法・形態を考える必要がある。

学校単位での活動



地域全体で活動を支える

活動の場を

地域に展開

していく必要

3 部活動を地域展開すると何が変わるのか

■学校部活動から地域クラブ活動への転換

	学校部活動	地域展開	地域クラブ活動
位置付け	学校教育の一環 (教育課程外)		【位置付け】 学校と連携して行う地域クラブ活動 (法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)
運営団体・ 実施主体	各中学校		①地方公共団体 ②多様な組織・団体
指導者	当該校の教師		地域の指導者（一部教師の兼職兼業）
参加者	当該校の生徒		地域の生徒
場所	当該校の施設		学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設 等
費用	用具、交通費等の実費		指導者謝金、用具費等 参加者からの会費で運営
補償	災害共済給付		各種保険等

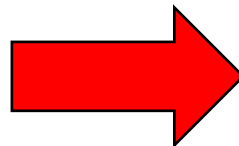
3 部活動を地域展開すると何が変わるのか

■改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

学校教育の
一環



スポーツ・
文化芸術振興
施策

3 部活動を地域展開すると何が変わるのか

■地域クラブ活動の在り方

「地域クラブ活動」においては、生徒を中心に考え、豊かで幅広い活動が実現されるよう、これまで学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、**新たな価値**を創出することが重要

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

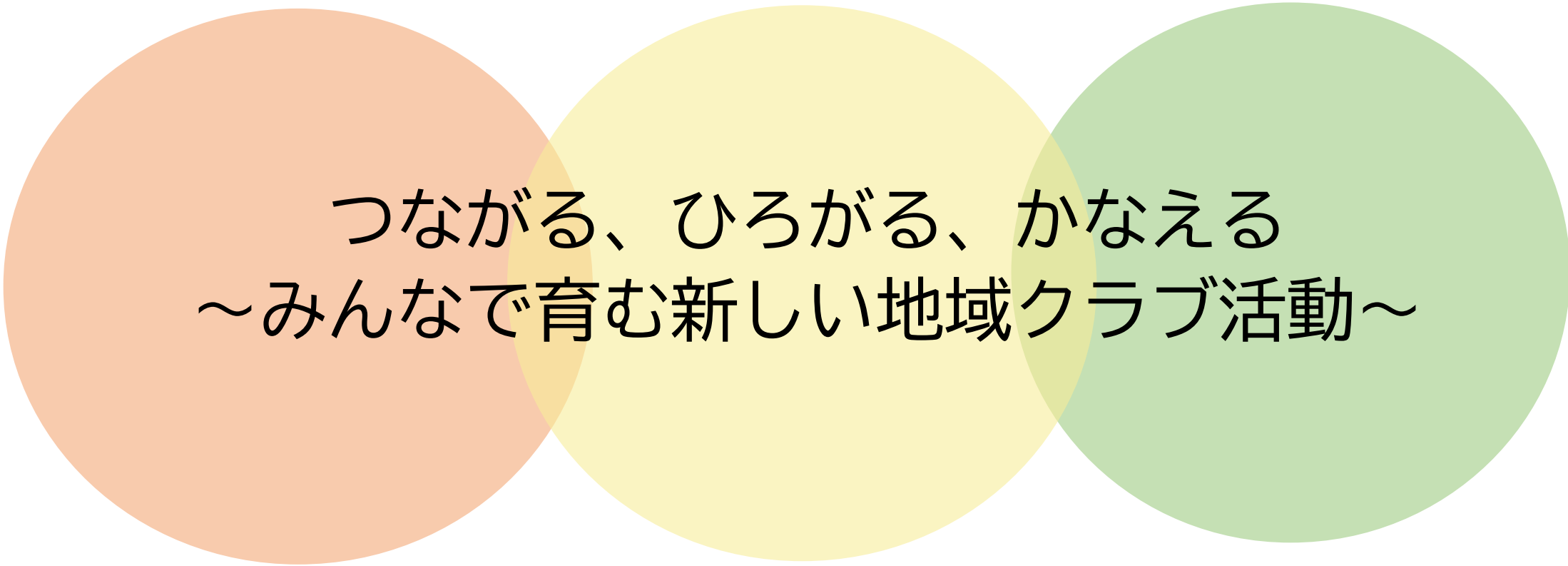
■地域クラブ活動において実現が期待される新たな価値の例

- ・ 生徒のニーズに応じた**多種多様な体験**
(1つの競技種目等だけに専念するのではなく複数の競技種目等に取り組むマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動や柔軟なルール等に基づく多様な活動を含む)
- ・ 生徒の**個性・得意分野等の尊重** ・ 学校等の**垣根を越えた仲間とのつながり創出**
- ・ 地域の様々な人や幅広い世代との**豊かな交流**
- ・ 適切な資質・能力を備えた指導者による**良質な指導**
- ・ 学校段階にとらわれない**継続的な活動**（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による**一貫的な指導** 等

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

4 本市の目指す地域クラブ活動

■基本目標（目指す姿）



つながる、ひろがる、かなえる
～みんなで育む新しい地域クラブ活動～

4 本市の目指す地域クラブ活動

■基本方針 「子どもたちの成長を地域全体で支える」

つながる

- 中学生だけでなく、小学生から大人まで誰でも、気軽に参加できる

ひろがる

- スポーツ・文化等の既存の枠にとらわれない、多様な活動の創出

かなえる

- 子どもたちが活動の主役
- 子ども自身が「やりたいこと」を選んで活動できる

4 本市の目指す地域クラブ活動

■部活動がなくなることによる影響

◆文化・スポーツ活動

これまで

中学校から新しく始める活動も、顧問の先生が基礎技術から指導

継続した練習による技術力の向上

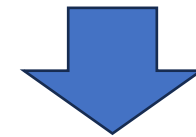
決まった時間の練習により、規則正しい生活習慣や定期的に体を動かす運動習慣が身につく

部活動がなくなると…

- ・ 高校生や大人になってから、基礎的な技術指導が必要
- ・ 技術力の低下
- ・ 運動習慣が身につかない
- ・ 規則正しい生活の乱れ

大人になってから新しいことを始めるのは心理的ハードルが高い

なかなか基礎的な技術が身につかない



- ・ 競技力の低下
- ・ 競技人口の減少
- ・ スポーツ活動、文化活動に取り組む人の減少

4 本市の目指す地域クラブ活動

■地域展開による効果

- ・これまで学校で過ごす時間が長かった中学生が、地域の中で過ごす時間が増える
- ・地域の大人や年少の子どもと活動することで、つながりが増え、地域への愛着心が育つ
- ・自主的に活動に参加し、活動内容について話し合うことで、自己決定する能力が身につく
- ・地域クラブに所属することで、中学生の期間の限定的な活動ではなく、生涯を通じて地域で活動する基盤ができる。
- ・様々な活動をする大人と関わることで、自分の将来像の参考になる

地域展開は、中学生の地域における活動を
将来のまちづくりにつなげる好機

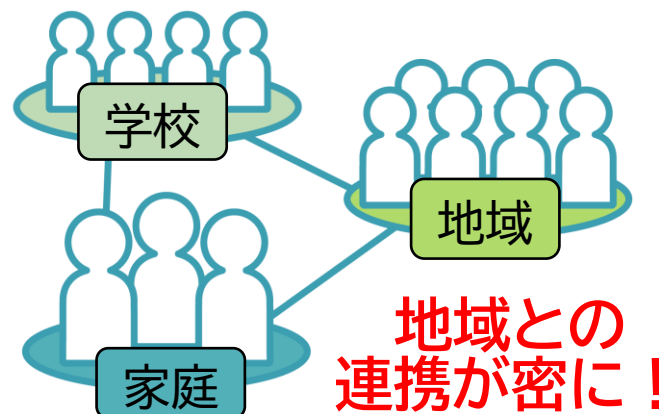
4 本市の目指す地域クラブ活動

■スポーツ振興における効果

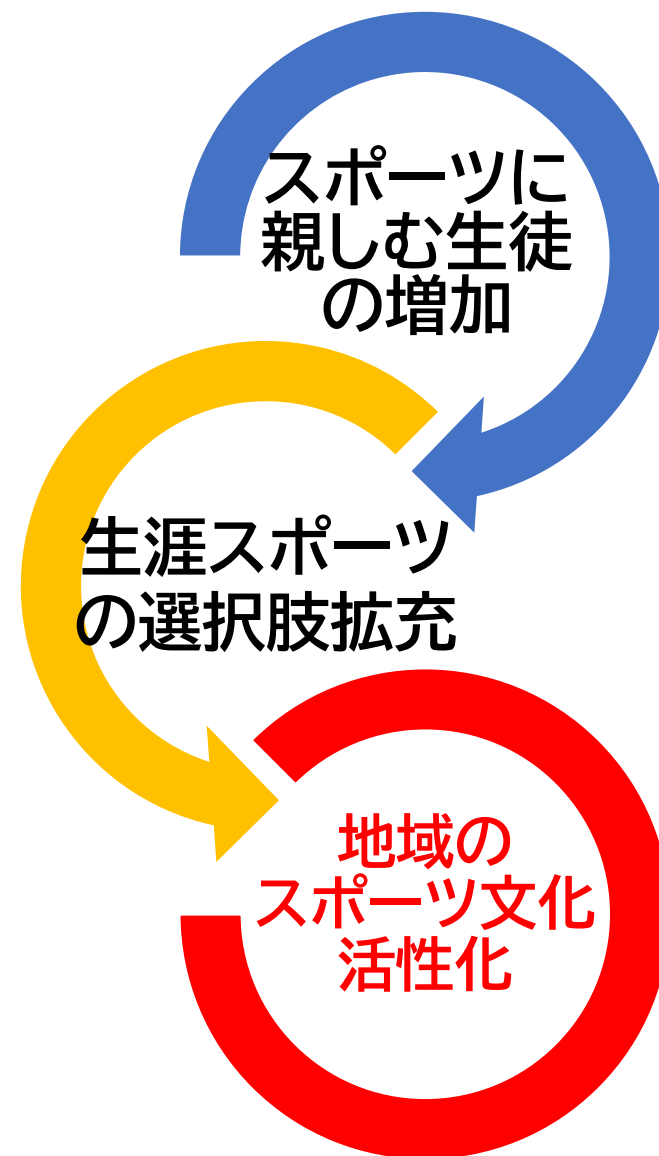
生徒の多様なニーズに対応



スポーツを通じた地域交流



地域でスポーツに親しめる
環境の整備が好循環を生む！



4 本市の目指す地域クラブ活動

■文化芸術振興における効果

1. 多様な文化芸術の体験機会が広がる

これまでの文化部にはなかった、新たな文化芸術に触れる機会の増大が期待できる。

2. 地域の文化資源の活用が進む

地域の専門家などが指導に関わることで、専門的な知識や技術が提供される。

地域の施設の活用が促進される。

3. 将来の文化芸術の担い手が育成される

世代を超えた接点生まれ、地域に根ざした伝統芸能や文化活動が継承され、将来の担い手の育成につながる。

4. 地域の文化芸術に関する人材の活躍の場が増える

文化芸術で生計を立てる人材の活躍の場が拡大し、地域の文化芸術団体の体制も強化される。

4 本市の目指す地域クラブ活動

■その他の分野における効果

「高松市総合計画」

高松市の課題

- ・人口の流出（転出超過）

大都市圏への人口流出が課題、特に若年層が、就職や進学に伴い、県外へ流出する状況が顕著。

市政運営の課題

- ・地方創生、シビックプライドの醸成

子どもの頃から地域の自然や歴史、文化に親しみ、その魅力を知ることが、全ての世代がこれからも本市で楽しく、豊かに暮らし続けていくための原動力となる。

（基本方針）

選ばれるまちづくり 持続可能なまちづくり 協働によるまちづくり

農業や伝統産業その他の様々な分野で、担い手不足は課題。

将来の地域経済を活性化するためにも、人材の育成が必要。

地域クラブが活性化することで、将来を担う人が育つとともに、
地域に愛着をもつ子どもたちが増え、地域の活性化につながる

5 地域クラブ活動の受け皿づくり

■ 「子どもたちの成長を地域全体で支える」ために必要となる取組

活動を通じ、子どもたちが成長できる、
学べる環境(地域クラブ)をつくる体制が必要

地域に受け皿がないと…

部活動のなくなった放課後の時間をどう過ごせばいいのか分からないまま
過ごす生徒が増える可能性。



地域クラブによって、放課後の過ごし方の選択肢を**広げる**

既存の部活動の枠にとらわれない、多種多様な活動を考えることが可能。
活動場所も、生涯学習センターや図書館などの社会教育施設、コミュニティセンター
のほか、オンラインなど様々な形態での開催が考えられる。

5 地域クラブ活動の受け皿づくり

■他市の事例

○神戸市：コベカツ（2026年9月～開始） ■第1・2次募集の結果 **1,011**クラブが認定登録

種目（クラブ数）	既存の部活動にない活動の例
球技（355）	ゴルフ、ラグビー、ボウリング、フィールドホッケー
武道（124）	カンフー、太極拳、合気道、少林寺拳法、キックボクシング、フェンシング
その他のスポーツ（143）	ダンス、エクササイズ・ヨガ、パラスポーツ・ニュースポーツ、クライミング・ボルダリング、シーズンスポーツ、スケートボード、チアダンス、アーチェリー
吹奏楽・音楽（92）	軽音活動、アカペラ、和太鼓
地域活動・野外活動（38）	社会貢献・地域活動、野外活動・レクリエーション・山登り、農業
ものづくり・情報処理等（58）	ものづくり、プログラミング、eスポーツ、ドローン操縦
伝統芸能・伝統芸術（49）	日本舞踊、獅子舞、神楽舞、剣詩舞道、着物着装
美術・絵画・クラフト（20）	
料理・学びに関する活動（82）	料理、国際交流（英会話等）、文芸（脚本）、朗読、起業家育成、メディア・映像制作等、暮らしのマナー、神戸学、探求活動
舞台舞踊等（21）	フラダンス、バレエ、社交ダンス等
その他の活動（29）	演劇、ボードゲーム、囲碁・将棋、マジック、競技かるた、手話

5 地域クラブ活動の受け皿づくり

○新潟市（2026年度～開始）

「帰宅しない部」「もふもふ教室」 ← 居場所づくりになる部

○三豊市

ミクスポ メタバース部、みとよ探求部、みとよマネ一部

【放課後改革】

中学生が主体的に参加し、自己決定により探究する場としての活動を地域全体で連携して支え、クラブ活動の選択肢を豊かにしていくための「三豊市放課後プラットフォーム・クラブ登録制度」を創設。

将来の地域を担う人づくりにつながり、地域の活性化にもつながる
「地域クラブ活動」の受け皿づくりに、市全体で取り組む必要

6 今後の取組について

スポーツ	今部活動にある競技を継続できる環境づくりに、関係団体（市スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、競技団体など）や学校、企業などと取り組む。 現在の部活動にはない、新たな競技（ダンス・弓道など）が実施できる環境づくりについて、関係団体等と連携して取り組む。
文化	今ある文化部活動の一部を継続できる環境づくりに、関係団体（県吹奏楽連盟など）や学校、企業などと取り組む。 現在の部活動にはない、新たな活動（伝統芸能・料理など）が実施できる環境づくりについて、関係団体等と連携して取り組む。
その他の 新たな活動	関係局、関係団体・事業者等で、中学生を対象にした地域クラブ活動の立ち上げを検討し、取り組む。 【活動例】社会貢献・地域活動・起業家教育・農業・盆栽・伝統工芸・生涯学習センターの各種講座 <u>社会教育・生涯学習の観点からの多様な学びの場づくり</u>

6 今後の取組について

今後、多様な受け皿をつくり、子どもたちの成長と、豊かなまちづくりにつなげていくためには、市長部局も含め、市全体で受け皿づくりを推進する体制をつくる必要。

■各課の取組

社会教育の観点から、中学生が学習や体験ができる活動の場づくりについてできることを、柔軟な発想で実施

【取組例】

- ・ 週1回程度、放課後の時間（16:00～17:00）にオンラインで中学生向けの講座を実施。
- ・ 図書館で読み聞かせサークルによる、読み聞かせボランティア活動へ中学生を受け入れ
- ・ 観光地でのボランティアガイド活動への中学生の受け入れ
- ・ 地域コミュニティにおける情報発信や、祭りの中学生の活動班
- ・ 金融機関による、起業家教育の中学生版の実施

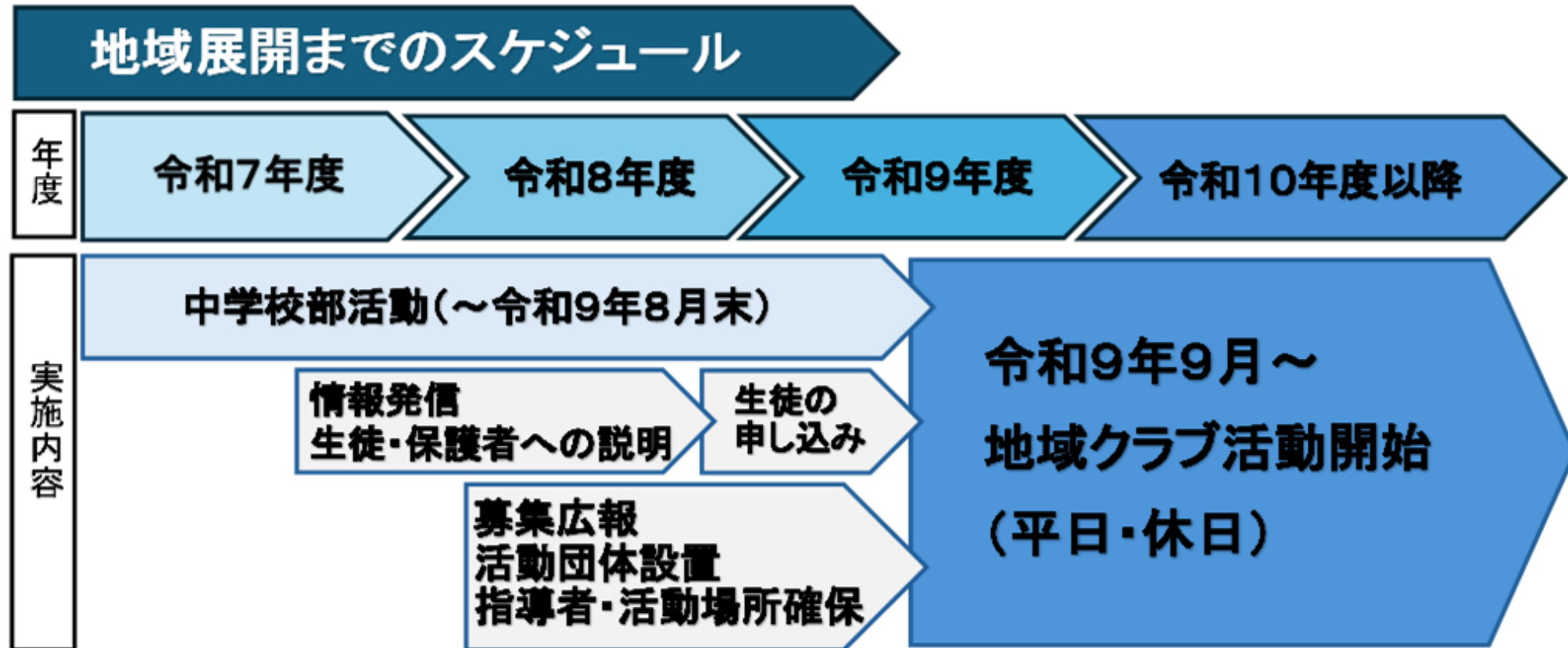
■教育委員会の取組

立ち上がった活動の情報発信や、活動のための環境整備

6 今後の取組について

■スケジュール（案）

部活動は令和9年8月末で終了し、9月から地域クラブ活動を開始するため、令和8年度中に活動団体を募集。



6 今後の取組について

地域クラブ活動で、子どもたちの成長を支え、
豊かな高松を創りましょう

